PDI製 VSR用 ニュートリガー 組込みマニュアル

2021.5 現在

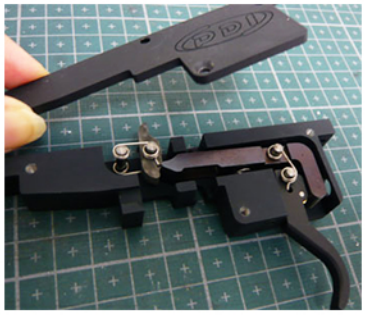
Torsion Spring

PDI製VSR用ニュートリガーは専用のリペアパーツを販売しています。
VSR-10用、BORE UP用共に使用可能となっております。
組込み手順を記載しますので、カスタム初心者の方は参考にしてください。

トリガーボックスを開けてみましょう

トリガーボックスのフタは４カ所のネジで固定されています。プラスドライバーで３カ所、六角レンチで１カ所(セットピン固定)のネジを外すとボックスのフタを開くことが出来ます。
(ボックス裏にセットピンを固定する為のピンがありますが、前の４カ所を外すとフタは取り外せます)
ボックス内のパーツをセットした後は外したときと同じ手順でフタをボックスにネジで固定してください。

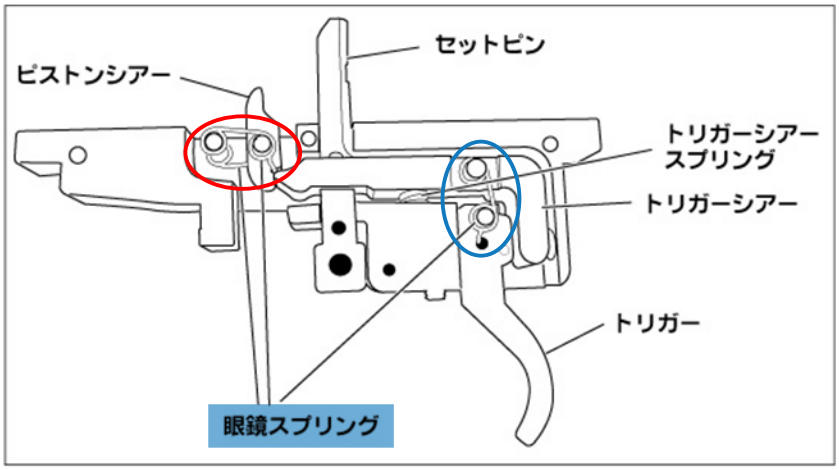
※セットピンを固定するネジはキツく締めすぎないようご注意ください
※ボックスのフタを開く際は中の小さなパーツを落とさないよう整理された机の上で、ボックスを水平に置いて行うようにしましょう



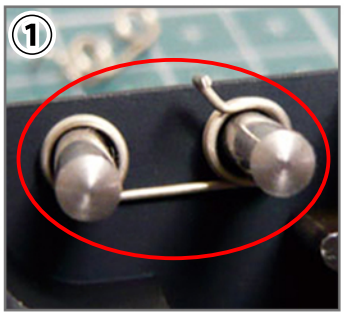
以下のPDI製VSR用ニュートリガー用リペアパーツを販売しています。

- 「ピストンシアー」
- 「セットピン」
- 「トリガーシアー」
- 「トリガーシアースプリング」
- 「トリガー」
- 「眼鏡スプリング」

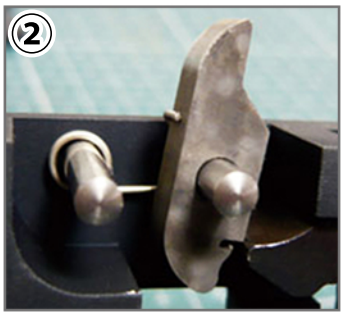
図解 ―断面図―



ピストンシアー部組込み手順



ピストンシアー部には２つの眼鏡スプリングを使用します。１つはシアーの下に、もう１つはシアーの上にセットします。まず下のスプリングを画像のようにセットします。

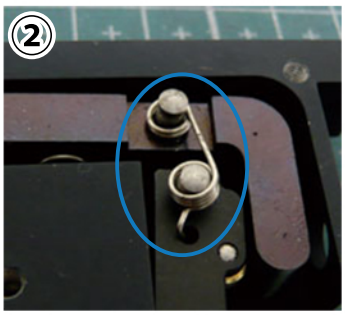


シアーをセットします。眼鏡スプリングの向きが画像と同じになっているかを確認してください。スプリングの方向が違うとトリガーは正常に作動しません。

シアーの上にセットする眼鏡スプリングのフックの先端が、シアーにある穴(凹み)にきちんとはまっているかを確認してください。ここがはずれていると作動しません。

トリガーシアー＆トリガー部組み込み手順

トリガーシアー部のピンとトリガー部のピンに眼鏡スプリングをセットし、動作を連結させます。眼鏡スプリングのフックの先端が、トリガーにある穴(凹み)にきちんとはまっているかを確認してください。



眼鏡スプリングの向きが上の画像と同じになっているか確認してください。スプリングの方向が違うと、トリガーが正常に作動しません。